

沖縄観光の現状・課題

●沖縄の産業構造

沖縄県の産業の特徴は、圧倒的に第3次産業の割合が高ことである。温暖な気候を利用して、野菜や花の県外出荷量は拡大しているが、**第1次産業においては、1.6%と極めて低い割合**に留まっていることから、**現在の沖縄県の暮らしを支えているのは、主に観光産業**であるということが言える。

●観光地としての沖縄

昨今、観光客数は大幅に増加し順調に推移しているものの、観光客の**平均滞在日数や一人当たりの消費額の伸び悩み**、急増する観光客受入における**新たな課題等に直面している**。具体的には、通年における観光客数の平準化や滞在日数の延伸、リピート需要の拡大、他地域との差別化、県内消費額の拡大といった課題が顕在化している。

●沖縄の観光資源

沖縄の代表的な観光資源としては、マリンスポーツやリゾート施設、琉球文化、戦跡等が挙げられるが、季節や天候に左右されるものも少なくない。上記の課題を踏まえて、その解決方法の一つとしては、**農業の6次産業化による新たな観光資源の開発、飲食関連の魅力創出**といった取り組みが考えられる。

取組の目的

今取組む必然性

沖縄への国内・海外からの観光客が拡大する中、新たな沖縄の魅力として注目される沖縄コーヒーの生産量が限られており、クオリティの維持が危ぶまれている。また、一部特需的に観光客が集中的に来訪する地域においては、**安定的に供給し本来の質を担保**することで、**新たな観光コンテンツとして訴求**できれば、今後の需要拡大の絶好の機会となる。

「沖縄コーヒー」のブランド構築

栽培農家への支援や耕作放棄地等の有効活用による**作付面積の拡大により、「沖縄コーヒー」の安定供給**を図るとともに、各種プロモーション等を通じた**販路拡大、ならびに加工・流通体制を整備**することで、「沖縄コーヒー」のブランド構築を目指す。

沖縄の新たな魅力創出（複合的な取組み）

「沖縄コーヒー」のブランド構築を核として、「**沖縄コーヒー文化の普及・発信**」、「**コーヒーツーリズムの創造**」、「**交流拠点の拡充**」等の複合的な取組みを通じて、**消費拡大**のみならず、**雇用の創出、交流人口の拡大**等に繋げるとともに、広く沖縄の振興に資する公共性の高い事業とする。

提案の背景

●沖縄におけるコーヒー市場

県内コンビニでのレジ横コーヒーサービスは、**全国平均の1.5倍**の売上を計上。また、沖縄県内における大型コーヒー専門チェーン店の進出も相次いでおり、人口10万人当たりのスターバックスの店舗数は、沖縄県は東京に続き全国2位の21軒（2016年）となっており、**観光客を中心としたコーヒー人口の多さとニーズの高まりが顕著**である。

●日本で唯一の「コーヒーベルト地帯」

日本では、「コーヒーベルト地帯」(気候等の条件がコーヒー豆の栽培に適した地域)に位置するのは、唯一沖縄であるため、「**沖縄のコーヒー**」=「**Japan coffee**」として、世界中に発信できるアイテムになり得る可能性を秘めている。

●「沖縄コーヒー」への関心の高まり

近年、日本国内でコーヒーが栽培されていることが報道されると、徐々に「沖縄コーヒー」の愛好者が増え、今後の**需要拡大に向けた機運が醸成**されつつある。そうした中、沖縄コーヒーが品質以上に**高値で売買されている**といった状況や、**生産量が追いつかず**、県内のいくつかのコーヒーショップでは、他のコーヒー豆と混合して飲料を提供するといった課題も顕在化しつつある。

資料提供：社）沖縄コーヒー協会

コンセプト

沖縄コーヒー文化の普及・発信
(消費拡大と沖縄産業の発展)

「沖縄コーヒー」のブランド構築

交流拠点の拡充

(地元住民、観光客等のコミュニティ形成)

コーヒーツーリズムの創造

(交流人口拡大と雇用の創出)



目指すべきスタイル

【旅行者への価値】

拡張性

飲む・寛ぐ
(沖縄らしい過ごし方)

・スイーツ等と一緒に
・琉球ガラスや陶器で楽しむ
・英国の「ハイティー」のように

Only One

作る
(他で出来ない体験)

・雨天でもできる体験
・ハウスなら通年楽しめる
・お土産を自分でつくる
・国内で沖縄だけ

新規性

作って帰る
(新しいお土産)

・新たな沖縄のお土産
・自分で作るお土産

新たな
交流の創出話題性・新規性
ワーケーション

・休暇中に旅先などで仕事をする新しい働き方

・住民や移住者の働く場所
・新たな事業創出の場

【住民への価値】

連結性

集う
(新たなコミュニティ)

経済性

作る・提供する・育てる
(新たな雇用創出)

・コーヒー栽培
・ドリンク類の調理・提供
・コーヒー豆の加工

革新性

働く
(コワーキングスペース)



沖縄ならではの6次産業化の取組で、新たな消費行動と雇用の創出を目指す

取組地域の選定

沖縄コーヒーの生産地であること

沖縄における生産者の数は年々増減してはいるが、およそ35軒程度。沖縄本島南部で3軒、中部で7軒、北部で16軒。離島部では、石垣島で5軒、宮古島で2軒、久米島で2軒で、10aくらいの小規模の圃場から1ha程度の圃場まで、大小さまざまな農家がコーヒー農園を営んでいる。

取組意欲の高い地域

沖縄本島では、農産品や観光資源のバリエーションが比較的豊富で、かつコーヒー農家が散在している。離島部に関しては、限られた耕作面積の中で、沖縄コーヒーの栽培に取り組み農家が相対的に多く、今後の拡大も期待される。また、産業構造もシンプルであり、6次産業化に意欲的な生産者も多い。加えて、沖縄では、従来サトウキビ農家も多いが、農作業の効率化や生産性の向上を求める声も多く、耕作面積が限られた地域では、サトウキビからコーヒー栽培に切り替える農家が今後拡大する可能性がある。

緊急性を要する地域

訪日客の拡大や新たな航空便の就航といった要因から、一部の地域の観光客が集中している状況が散見されるが、こうした地域における受入環境整備や地域の魅力の訴求は極めて重要で、この機会にネガティブな印象を与えると今後のリピート需要に支障が生じ、満足度の高いサービス等を提供できると、今後の安定的なリピートに繋がる可能性が高い。

※こうした状況に鑑み、まず着手する必然性がある地域を以下の離島部と規定して取組む。

久米島

インバウンド需要による
観光客の急増

宮古島

空港開業で
観光パブル景気

石垣島

オーバーツーリズム
の慢性化

初年度取組内容

生産・流通体制の整備

▶栽培農家の支援・普及(個別指導、研究会等)
▶耕作放棄地等の活用による作付面積の拡大
▶住民参加型農園(オーナー制度等)の運営

安定的な生産量の確保

▶プロモーション(商談会、メディア活用、イベント開催等)
▶越境ECサイト等を活用した海外への販売

流通体制の確立

6次産業化の取組

▶空き家等のリノベーションによる体験・交流拠点の設置
(用途)カフェ、体験・物販、観光拠点、交流、コワーキングスペース等
(対象)観光客、住民、ビジネス客等
▶体験コンテンツの商品化・販売(収穫・焙煎体験等)

交流人口の拡大

次年度以降の展開案

2020年度(2年目)

取組エリア拡大、P R、交流拠点運営

2021年度(3年目)

ブランド構築、コーヒーツーリズム普及

※初年度で確立した取組モデルを、2年目から3年目にかけて沖縄全体に波及させる。

実施体制

内閣府(政策統括官・沖縄政策担当)

【連携先】

宮古島、石垣島、久米島
各自治体

・各種情報提供、広報支援

(一社) 沖縄コーヒー協会

・内閣府への補助金申請
・栽培農家の支援、普及
・ブランド化・販路拡大



【連携先】

栽培農家

・コーヒー豆の生産・加工
・品種確立・高付加価値化

【連携先】

NPO法人 食の風

・交流拠点のプロデュース

【連携先】

琉球大学(国際地域創造学部・農学部)

・調査実施・沖縄適品品種の研究
・コーヒーツーリズムの検討

【連携先】

旅行代理店

・プロモーション
・コンテンツ開発・販売

私たちが目指すもの～沖縄コーヒーを世界視野に・地域に根差す～

- 県内コーヒー栽培農家の実態調査、データベース化
- 国内コーヒーの市場調査・現状把握
- 県産コーヒーの市場ニーズの調査
- 世界のウチナンチュとのネットワーク調査

【調査実施者】
・琉球大学ウェルネス研究分野
教員
大学院生補助スタッフ
ウェルネスゼミ学生補助スタッフ
（社）沖縄コーヒー協会スタッフ

国・県・大学・協会の知財資源

栽培農家の支援および普及～啓蒙活動

6次産業化プラン支援

- ・個別指導、研究会開催
- ・離島産業支援

【支援・連携】
 沖縄コーヒー協会スタッフ
 ・琉球大学ウェルネス研究分野
 教員
 （予定）JICA・WUB
 台湾、中国、ベトナムコーヒー協会
 県沖縄観光コンベンションビューロー
 県産業振興公社

耕作放棄地 有効利用

“沖縄産コーヒー”の生産、加工、消費（域内・域外）流通確立

就業支援 雇用創出

沖縄産コーヒーサミットで世界デビュー・ブランド構築

沖縄コーヒーツーリズム観光沖縄の新しい魅力創出

©荒川 雅志

**県内・海外コーヒー生産者とともに「沖縄コーヒーサミット
2020」開催へ**

すでに名古屋、鳥取などで行なわれているコーヒーサミットやフェスティバルがあるが、生産者中心のサミットやサローネはまだない。＞ 沖縄コーヒーサミットを起爆剤にする！



素晴らしいコーヒーワールドを沖縄から
広げていきましょう！